

第6回金山町町制施行100周年記念事業実行委員会

◎日時：令和6年11月25日（月）
15:00～

◎場所：町民ホール

（出席者）

佐藤 英司	実行委員長（金山町 町長）
栗田 保則	副実行委員長（金山町議会 議長）
小野 和俊	副実行委員長（金山町 副町長）
矢口卯之助	副実行委員長（区長公民館長連絡協議会 会長）
星川 広喜	委員（もがみ北部商工会金山支部 支部長）
岸 新也	委員（金山農業協同組合 代表理事組合長）
近岡 伸	委員（金山町森林組合 代表理事組合長）
安食 秀一	委員（金山町立金山中学校 校長）
樋口 勝也	委員（老人クラブ連合会 会長）
大場 洋介	委員（青年団体連絡協議会 会長）
松田 秀子	委員（女性団体連絡協議会 副会長）
沼澤 道也	委員（金山町議会 副議長）
須藤 信一	委員（金山町 教育長）

1. 開 会

2. 実行委員長あいさつ

第6回目の会議。前回が9月17日の会議後、記念式典・祝賀会を実施しおかげさまをもちまして成功裏に終わった。ありがとうございました。前日からのリハーサル、当日の本番、用意周到に進め、中高生の協力も得て100周年にふさわしい式典となった。

当日は、祝日ではなかったが町内各世帯で国旗・町旗を掲揚してくださり、来賓の皆さまをお迎えする素晴らしい演出ともなった。ご来賓の多くの皆様からも「素晴らしい式典内容であった」という声に加え「沿道の国旗・町旗掲揚の姿に感動した」という声を多数いただいた。町民一体となって盛り上げていただき本当にありがたかった。

11月23日にはYBCで特番が放送された。10月5日の式典・祝賀会を終えて100周年事業の大きな節目として一つの山を越えたところであるが、今後の事業展開についてご協議いただきたい。

3. 協 議

（1）事業実績、今後の事業案等について

事務局より資料に沿って変更点について説明。

記念誌は5月納品予定。新聞広告（1面）は12月31日掲載予定。

4ページから15ページまで資料記載のとおり。

17ページ、記念映像オリジナルソング「りゅう」の歌詞について説明。

元日の午前中、町長から町民の皆さまへ向けたお祝いのメッセージを音声でお届けし、祝砲も併せて上げたいと考えている。

令和7年度に予定されている事業は、議会の承認を経て実施されるものだが、このようなかたちで予算要求させていただく方針。

町制施行100周年を記念とした「出張鑑定団 in 金山」の実施を検討しているが、100組以上の応募が必要となる。新庄・最上、または庄内まで声をかけるかもしれない。

質問・確認事項

佐藤 英司 実行委員長

式典について、多くの来賓の皆さまから「さすが100周年」と言っていた。大掛かりな催しで来賓の皆様にも強いインパクトを与えることができた。

松田 秀子 委員

10月5日の山新新聞広告を拝見し、びっくりした。また、これからこの式典に参加するのだと思うと心が躍った。

11月3日の女性団体のふあむふあむマルシェ、役場・公民館職員の皆さまにご協力いただき盛大に終わることができたことを報告します。ありがとうございました。

沼澤 道也 委員

11月23日のYBC特番を拝見し、気付いたことがあった。中学生の活躍の場が映し出されていた。私は受付後すぐに会場へ行ったので、あのような生徒の動きが分からずにいた。「ここまで生徒がやってくれたのか」と思った。当日の式典は外部からもとても評価が高いものだった。「お金も相当掛かったんだろう」とも言われたが、いいイベントだった。

安食 秀一 委員

YBCの特番は、ナレーションも中学生でしたし、中学生目線で作ってくれたことが伝わってきて嬉しかった。式典当日の活動もそうだが、今年度様々なイベントがあったので、ひとつひとつ子ども達に紹介し「参加して盛り上げてくれよ」と声をかけてきた。子ども達もそれに応じてポスターを作ってくれたりしながら自分事として100周年の1年間を過ごす気持ちが育ったと思う。

佐藤 英司 実行委員長

中学生の皆さん、多くのイベントに大勢参加してくれて「いいなあ」と思った。

大場 洋介 委員

職員は大変難儀されたと思う。式典や祝賀会では青年団体も協力されていた。全国植樹祭、全国育樹祭、そして今回の100周年記念式典、国旗・町旗掲揚もとてもよかった。

中止になったイベントについて、評価を伺いたい。ミニバラ配布の評価、町民からどのような声が上がってきているか質問する。

事務局（総務課長）

各地区で準備していただいたたすきリレー、荒天により中止となってしまった。この機会にたすきをつないでみたかったという声もいただいている。令和7年度に向けてどういう形でできるかということも含め検討している。他のイベントについても所管課が中心となりながら振り返りを行い、令和7年度にどういう形で継続していけるか、どういうエッセンスを残した事業をやっていけるかを検討している。花について、今のところ「良かった」という声をいただいているが、2～3年経ってどのように成長するかなども影響すると思うので、一過性のものにならないよう考えている。

佐藤 英司 実行委員長

たすきリレーと神室音楽祭は荒天により中止となり残念であったが、次年度に向けて検討している。神室音楽祭については、来年度の実施に前向きと聞いているが、たすきリレーは地区の協力無くしてはできないため、不透明な部分もあると考えている。花は好評だったと思うが、大場議員にはどのような声が届いたか。

大場 洋介 委員

自分の周りでは「配布する時期が遅かったのではないか」「大きい花の方が良かった」という声もあった。自分としてももう少し早く配付してもらえたら良かったと思っている。中止されたイベントは天候に左右されるものだった。屋内や別の形での開催はできなかったのか等、再検討していただけたら。

近岡 伸 委員

100 周年の式典、すばらしい式典だったと本当に思った。町民皆でつくった式典。決して派手ではないが心のこもった式典だったという感想がどんどん出てきた。準備されたスタッフの皆さん、プログラムも出演者もたくさん苦勞して考えたと思う。スタッフの皆さんの気持ちがとてもよく表れた式典だったと思う。

特に町民スピーチ。I ターン、U ターン、中学生、それぞれの金山への愛が伝わりとても良かった。外部から来た人も金山の良さや人の繋がりを感じることができた式典だった。式典だけでなくこういうまちづくりをしていけたらいいなと思った。

金中の校長先生が、生徒に対して積極的に参加するように声掛けしてきたという話があった。先日谷口の近岡家（旧家）の見学会があった。小学生 4 人が参加してくれて横浜国立大学の大学院生が説明し、午後と一緒にポスターを作成した。窓ガラスの模様、古い机の脚についている模様など、我々とは違う視点で見てくれた。改めて金山の町をめぐり、その成果をポスターなどとして表すと、心と記憶に残る。このイベント、とてもいいなと感じた。金山に生まれ育って帰ってきたいと感じてもらうためには、このようなイベントが有効だと感じた。

佐藤 英司 実行委員長

続いて、皆様からご意見を頂戴したいと思います。

樋口 勝也 委員

いい経過で 100 周年の式典が行われたと思う。雨で中止されたイベントはもうしないのか。11 月 10 日に行われた道草文化祭、明安地区の住民と大学生のパワーが素晴らしいイベントだったと思った。100 周年式典を支えてくれた各団体の皆さんが文化活動を存続できるような手立てをしていくことが大切と思った。100 周年式典が終了したから終わりではなく、これからの 100 年を考えるのが大切だと思う。

佐藤 英司 実行委員長

神室音楽祭は中止になったがスタッフの皆さんを対象にミニコンサートを実施した。来年度は改めて実施したいという意向がある。たすきりレーは、地区の協力が必要となるので今のところどうなるかはっきりしていない。区公連の会長さん、今のところ意向はありますか。

矢口 卯之助 副実行委員長

教育委員会で区長にアンケートをとった。私は、たすきりレーや綱引き、全ての行事ではないが継続して欲しいと回答した。

佐藤 英司 実行委員長

たすきりレーや綱引きは、来年度は難しいと考える方もいるため、見極めは今後させていただく。

道草文化祭、500 名くらいの人出があり、大変盛り上がった。山大チーム道草が念入りに準備してくださったのと、明安地区の区長会のさんが一緒になって明安地域を盛り上げるためにご協力くださったのが良かったと思う。他の地区でもできないかな、と思うくらい素晴らしいイベントだった。

100 周年記念式典を支えてくださった皆様の文化的な活動を支援していくことは当然であるが、特に芸文協の皆さんには、発表会、産業まつり、道草文化祭で披露いただいたり、美杉コーラスの皆さんからは式典で町の歌を歌っていただいたりと花を添えていただいた。これらの活動を大事にしながら環境整備を含め、町の方でも支援していきたいと考えている。

須藤 信一 委員

色々な声を集約して来年度に向けて検討を進めているところ。「やりましょう」という方向性が強いものについては、実施する方向で考えている。

感想も含めて。毎年育英会の面接のときに「金山出身だということをどう自己紹介しますか」と毎年聞いている。今年は 100 周年を迎えたことが自信をもって誇りをもって紹介できたのではないかとと思う。友人や遠方の家族に「金山の You Tube 見てね」と言えるし、中学生もただ参加したのではなく「参画」したことで非常に思い出深いものになったと思う。金山人として誇りを感じてもらえ

たのではないかと思う。

昨日の新聞に、先月短歌会に出した短歌が掲載された。100周年を詠んだ歌。

『悠久の年輪刻む金山の百寿を祝う歓喜の光』

星川 広喜 委員

実行委員会、事務局、成功裏に進めていただき感謝申し上げます。祝賀会を商工会にお任せいただき、翌日に総務課長から労いと感謝の言葉をいただき、嬉しく思った。

様々な事業を前向きに取り組んでいただき、誇らしく思った。式典で映像を見た時、時代ごとの金山の魅力を表現されており、先輩方が紡いだ歴史の重みを感じ感慨深く拝見した。

商工会では、数年後高規格道路が開通することで期待と不安を感じている。飲食店等で来年度キャンペーン事業を実施していただけるということでありがたく思っている。

栗田 保則 副実行委員長

各市町村から多くの来賓の皆さまを迎え、式典、祝賀会を開催できたことに感謝申し上げます。

YBCの特番を見たが、中学生や各団体が活躍する様子が写されており、本当にいい映像だった。実行委員の皆様のご尽力と各団体の皆様のご協力、そしてなんといっても事務局の皆様の大きな力が100周年記念事業の大成功に繋がったと思う。ありがとうございました。

小野 和俊 副実行委員長

今年度は、100歳体操、100年御膳、景観ポイント100選など、新しい事業が生まれた。来年度はポストイベントとしてこれらを普及していくような取り組みを頑張っていけたらと思う。その際はまたご協力よろしくお願いします。

佐藤 英司 実行委員長

今副町長からもあったが、今回立ち上がってこれから普及する必要があるものもあるので、末永くできるようにこれからも気を使いながらやっていく必要がある。

1月1日、100周年記念当日、町長から町民へのメッセージ放送と祝砲を打ち上げるということを考えている。

令和7年度事業（予算に関係する部分もあるが）23ページに記載されているので、ポスト100周年として祝う気持ちを持続していきたいと考える。

実行委員の皆様には、今後も実行委員会を適宜開催させていただき、ご協力いただきたいと思います。

（２）意見交換

沼澤 道也 委員

100周年事業として生まれた事業だということを、これから見えるような形にして欲しい。

1つとして、中学生の活躍がすごかった。これから彼らにどのように町づくりに参画してもらうか。金中では金山学をしているが外部の人は、何をしているかわからない。ぜひ来年の公民館大会等にこの枠を設けて欲しい。中学校では1位、2位を選んでいただき、それを町民が集まる公民館大会でやる。これから金山を作る人達が何を考えているのかを表すためにも。

また、子どもが来る場所には必ず大人が来る。公民館大会、人を集めることが難しくなっている。親も自分の子どもがどう発表するのか。興味を持ってきてくれる。ぜひこの点も検討していただき、100年先を作っていく子供達の発表の場を考えて欲しい。これからの若者たちの出番、その1つに金山学の公民館大会での発表を検討いただきたい。

佐藤 英司 実行委員長

中学生の活躍の場としてのご提案。公民館大会のご提案は、今後検討させていただく。

安食 秀一 委員

昨年度・今年度、外部からアドバイザーをたくさん呼んでコラボし、内部を高めている。

令和7年度は金山学で「金山のPR動画作成」を検討している。町広報担当者とゼミ形式で相談し、100周年記念動画を作成したチームやアーティストと一緒にできないか、と考えている。

金山学の発表の場は、公民館大会での発表は私の中ではまだ検討していなかったが、来年度はぜひ保護者や全町民も含め色々な形で発信していく方向で進めている。具体的にどうするかはまだだが、金山の発展のために大人と一緒に活動することがとても重要。更にそれを実践化、製品化、実物化の形で3年生では提案しようと進めている。

佐藤 英司 実行委員長

公民館大会の在り方については、今年度は100周年記念で歴史に学ぶという形態を実施したが次年度は違う形で行う方向で、持ち方については私からもお願いしている。

内容までは確約は難しいが、できるところでやっていきたいと思う。

大場 洋介 委員

道草文化祭では学生のPR力を感じた。これまでの町の事業の取組みと人の流れが少しずつ変わってきたのだと思う。

デジタルアトラクションイベントも、子どもが来れば親や祖父母がついてくるので、大きな集客に繋がった。とても評価したい。

事務局（渡辺課長補佐）

デジタルアトラクションイベントとして、普段田舎の子供たちが味わえないテーマパーク型の遊びを運営している(株)リトブラとSEGA XDと一緒に連携して実施した。当日は約800人が来場した。

最上地域みんなで子育て応援団（8市町村＋最上総合支庁＋管内保育関係施設）と連携したところ、保育士がスタッフとして参加してくれたので子どもたちがスムーズに遊ぶことができた。町のインスタを通じて南陽市、天童市、鶴岡市など遠方からの来場者もいた。町の税金を使ったイベントのため、今後は数年に1回、体育館で大々的に実施できたらと思う。

大場 洋介 委員

子供達のにぎやかな声が印象的だった。1,000人の来客を想定しているということだったが、駐車場整理なども難儀されたと思う。次につながるイベントだった。

佐藤 英司 実行委員長

デジタルを活用した新しい遊びの場を提供できた。約800人に来場いただき、本当に素晴らしいイベントになった。大成功だったと思う。

協議としては意見交換を含めて以上。

4. その他

事務局より連絡事項

12月31日の山新、10月5日の全面広告の際にたくさんの協賛が集まり、片面4分の1の予定だったが片面出せることになった。

デジタルアトラクションイベントでは、金山小の放課後子ども教室の皆さんが缶バッジを作ってくれた。来場者記念品配布や缶バッジ配布でスタッフとして関わってくれた。積極的に働いてくれてありがたかった。

式典・祝賀会は実行委員の皆様のご意見を元に事業を組立させていただいた。当日の祝賀会の運営にも商工会、青年団体、女性団体の皆様にもご協力いただきありがとうございます。

式典には、他の自治体がいづつか視察に来た。会場全体の経費900万円くらい。椅子と養生シートが経費の多くを占めている。YBCの特番では中学生の活躍の場面を多く放送していただくように校正した。

令和7年度以降の事業の進め方が今後の100年に向けた大事なスタートとなる。全庁を上げて次の世代に結びつくような事業をしていきたい。引き続きよろしくをお願いします。

YBCの特番は、町でDVDにコピーして配布することはできない。年末までに再放送される可能性はあるが、見逃し配信などは無い。

記念動画は現在12,000回再生。自治体としては再生回数が多い方だが、もっとたくさんの人に見て

もらいたい。中学校の生徒と一緒に金山学を通した令和7年度事業で実施していく計画としている。

5. 閉 会

閉会 16 : 17

事務局	総務課長	丹 敏雅
	課長補佐	渡辺麻里子
	総務係主事	笹原明日樺
	総合政策課長	庄司 紀一
	課長補佐	高橋 章

(議 事 録) 齊藤 真奈美